

# 私学・私塾教育ひとすじに

～ 龍澤正美先生を偲んで～

故・龍澤正美「お別れの会・皆様への感謝の会」実行委員会  
学校法人龍澤学館 理事会・評議員会

と き：令和5年（2023年）8月8日（火）  
ところ：ホテルメトロポリタン盛岡／ニューウイング



座右の銘

## 龍澤 正美

<たつざわ まさはる>

令和5年(2023年)6月4日 永眠 享年83歳

## 経 歴

昭和16年4月27日生

本籍地 岩手県盛岡市高松一丁目64番地

現住所 〒020-0876 岩手県盛岡市馬場町6番19号

### 〔学 歴〕

昭和35年3月 岩手県立盛岡第一高等学校 卒業

昭和40年3月 早稲田大学法学部 卒業

### 〔免 許〕

昭和40年3月 中学校教諭1級普通免許(社会)

昭和40年3月 高等学校教諭2級普通免許(社会)

### 〔略 歴〕

昭和40年4月 龍澤高等学校教諭

昭和51年2月 龍澤高等学校副校長兼事務長

昭和63年4月 学校法人龍澤学館事務局長

平成6年9月 学校法人龍澤学館理事長に就任

平成9年4月 盛岡医療福祉専門学校(現盛岡医療福祉スポーツ専門学校)校長兼務

平成11年4月 月が丘幼稚園園長兼務

平成27年3月 月が丘幼稚園園長退任

### 〔表 彰〕

平成27年7月 文部科学大臣表彰(専門学校教育振興)

平成29年3月 日本民間教育大賞(最高功労賞・私学私塾振興)

平成30年11月 岩手県私学教育表彰(県知事)

### 〔社会活動歴等〕

公益社団法人岩手県私学振興会代表理事

一般社団法人岩手県専修学校各種学校連合会会長

盛岡ユネスコ協会理事

公益財団法人盛岡国際交流協会理事

岩手県日本・カナダ協会理事

岩手県日中友好協会会長

盛岡市日中友好協会会長

一般社団法人日本教育者セミナー常任理事

全国私学振興会連合会理事

全国私学退職金団体連合会理事

国際情報ビジネス協同組合理事長

岩手県少林寺拳法連盟会長

社会福祉法人盛岡ひまわり会理事長

株式会社IBCソフトアルファ代表取締役専務

株式会社MCS生涯学習センター代表取締役

以 上



**龍澤正美氏**

**82歳 私学振興などに貢献**

盛岡市に本部がある学校法人龍澤学館の理事長、龍澤正美（たつざわ・まさはる）氏が4日午後8時13分、病気のため亡くなった。82歳。火葬、葬儀は近親者で済ませた。喪主は妻桂子（けいこ）さん。後日、偲（しの）ぶ会を執り行う。日程は未定。

盛岡市出身。盛岡一高、早稲田大学法学部卒。1965年に龍澤高（現盛岡中央高）の教諭となり、龍澤学館事務局長を経て、94年に理事長に就任。97年から盛岡医療福祉専門学校（現盛岡医療福祉スポーツ専門学校）校長兼務。月が丘幼稚園園長も務めた。

県私学振興会代表理事（2面に関連広告）

事、県日中友好協会会長などを歴任。文部科学大臣表彰（専門学校教育振興）、県私学教育表彰（県知事表彰）などを受けた。

進学塾から龍澤学館を創業した父の福美（ふくみ）さんの死去に伴って経営側となり、盛岡中央高や盛岡中央ゼミナール、各種専門学校を運営。進学教育、グローバル人材育成、専門学校教育、幼児教育など本県の私学、教育事業に力を尽くした。

盛岡タイムス（令和5年6月10日付）

熱意、誠意、思いやり、挑戦  
 創意工夫  
 謙虚さ  
 自由な発想と客観的に見、  
 相手の考えの中に取り込める  
 ものが有り得るすなわち受け  
 取る態度を失なう様子  
 寛容  
 人の失敗などとはかみかたし  
 て、心と手を繋ぐ目的。  
 認めることと受け止める

龍澤正美 机上メモより（絶筆）

龍澤正美  
 M. Tsuruzawa

令和5年6月号 令和5年6月20日 岩手・留学生を支援する会通信

## 龍澤正美理事長がご逝去されました

新聞報道で既にご存じとは思いますが、去る6/4 学校法人龍澤学館理事長龍澤正美様のご逝去されました。突然の報で、支援会会員の皆様を始め、各方面の方々がおさぞや驚き悲しまれたことと思います。

龍澤正美理事長は、岩手県の教育界に大きな功績をあげられましたが、特に留学生の教育・育成には熱心に取り組まれていらっしゃいました。2004年に日本語学科を設置して以来、これまでに約800名の留学生が盛岡で日本語を学び、全国の大学・専門学校に進学しました。卒業生たちは大学・専門学校卒業後、日本の会社や母国の日系企業に就職し、母国と日本の懸け橋として活躍しております。全員が共通して「盛岡は第二の故郷です。盛岡に留学して本当に良かったと思っています」と言っております。

今でこそ、外国人留学生や外国人技能実習生を盛岡市内や岩手県内で目にするのが当たり前になりましたが、20年前に今日の姿を予見され、日本語学科を設置されたことは、まさに時代を先取りされていたと言わずにはおられません。

龍澤理事長の訃報を聞いた卒業生たちも一様に驚き、悲しんでおります。次々と事務局に追悼のメッセージが寄せられております。一部をご紹介しますのでお読みください。最後になりましたが、龍澤正美理事長のご冥福を謹んでお祈り申し上げます。

**卒業生たちからのお悔やみのメッセージ（一部抜粋）**

・心からお悔やみを申し上げます。体調を崩されたことを聞きましたが、こんなに突然とは思いませんでした。大変悲しいです。理事長の優しさ、暖かさは私たちの大変な留学生生活を支えてくれました。また、仕事でも大変お世話になりました。もう一度お会いできないことはとても残念です（1回生：LE THI GIANGさん）



**龍澤学館理事長**

龍澤 正美さん（たつざわ・まさはる）  
 学校法人龍澤学館理事長  
 4日午後8時13分、病気のため死去、82歳。盛岡市出身。火葬、葬儀は近親者で済ませた。喪主は妻桂子（けいこ）さん。後日、しのぶ会を開く。日時などは未定。

龍澤高（現盛岡中央高）教諭、龍澤学館事務局長を経て94年から理事長。幼児保育から高等進学まで扱う本県随一の総合専門学校グループを築き、近年は国際人材の育成に力を注いだ。県私学振興会代表理事も歴任し、教育の質向上に尽力した。





昭和 33 年 3 月頃からの龍澤一家（前列左から三男信哉、福美、四男通世、トヨ。後列左からお手伝いさん、長男休美、次男正美）



若かりし頃の正美氏（左端）



入学式にて



カナダ・ビクトリア市長（左から 3 人目、当時）と

中央高等学校創立 30 周年記念式典にて



創立 30 周年記念式典にて



カナダ駐日大使 ジョセフ・キャロン氏夫妻来校（2007.2.3）



オーストラリア・デイビッドソンハイスクール コージー校長（左から 2 人目）、ニュージーランド・オツモエタイカレッジ デーブ・ランデル校長（右端）と



复旦大学附属中 謝前校長と





ベトナム・ブイティシャン高校校長と



桂子夫人（中央）と



ベトナム・ブイティシャン高校ナム校長（当時）と



フィンランド・ラヤマキセカンダリースクール（現セブンブラザーズスクール）との姉妹校締結式（2013.8.29）



米国・ザ・マスターズ・スクール姉妹校締結（2010.9.2）



ロシアのインターナショナル・リングイスティック・スクールと姉妹校調印時（2015.9.5）



岩手ビッグブルズbjリーグ式典



盛岡中央高校附属中学校開校式 入学式にて（2018.4.10）



### ベトナム・ホーチミンより

ドンズー日本語学校のグエン ドゥック ホエです。

ドンズー日本語学校代表、そしてあなたの友人として、謹んでお別れの言葉を申し上げます。  
龍澤さん、ご逝去されましたことは、痛恨の極みであります。

あなたとの出会いは2003年の秋でした。

その時、日本全国専門学校連合会のベトナム訪問で、あなたは我が校にご来訪くださいました。ベトナムの生徒に関心を寄せてくださり、彼らをあなたの経営している日本語学校に受け入れる用意があるとおっしゃってくださいました。

そして、2004年に1期生を受入れてくださいました。当時のドンズー出身の留学生たちは、経済的に恵まれていない者がほとんどだったのですが、学費の面や生活の面であなたのご支援をいただいたおかげで、彼らは様々な困難を乗り越え、東京大学、東京工業大学など日本の名門大学に合格できました。2期生以降の留学生たちに対してもあなたは支援を惜しみませんでした。あなたのご厚情に感謝の言葉もございません。

あなたと年齢が同じなため、友人としてもお付き合いさせていただきました。同じ教育分野で互いに切磋琢磨し、若者を育てることに取り組んでまいりました。あなたのご招待で、大阪での勉強会に参加し、盛岡に所在するあなたの学校にも訪問させていただきました。幼児教育・保育から高等学校、専門学校まで扱う総合専門教育グループを築き、国際人材の育成にも精力を注いだあなたの功績にはただただ感嘆するばかりです。

教育に対するあなたの情熱が、どれだけ私を力づけたことか。そして人間味豊かなその飾らないお人柄、その優しさには深い尊敬の念を抱かずにはいられませんでした。

龍澤さん、心残りではございますが、これでお別れいたします。どうぞ安らかに眠りください。

### ～グローバル教育の軌跡～





## 追悼メッセージ（一部）



### アメリカ・ワシントン DC

弁護士 ウィリアム・ビル・スドー

バージニア州議会議員 キャサリン・J・マーフィー

龍澤様の訃報を知り、ご遺族の皆様に心よりお悔み申し上げます。

私が高校2年生で、彼が大学1年生の時でした。私はフルブライトの奨学金制度で来日し、龍澤家にお世話になりました。1ヶ月間、私は盛岡一高に通いながら、彼の家で彼と寝食を共にしました。初めての海外生活、そして文化が大きく違う日本での留学体験は、その後の人生に大きな影響をもたらしました。

今から10数年前、私は当時勤務していた法律事務所に、隆博という人から突然電話をもらいます。彼の第一声は、「盛岡の龍澤さんを覚えていますか」もちろん「Yes」でした。衝撃的な電話でした。

その後、彼がワシントン DC を訪れ、再会が実現することになります。待ち合わせ場所は、ワシントン・ヒルトン・ホテルのロビー。2010年、40数年の時を経て、感動の再会を果たします。二人とも、何度も何度も強く抱き合い、固い握手を繰り返しました。以後2度、彼はワシントン DC を訪れます。彼は会うたびに、「夢のようだ」「夢のようだ」を繰り返し、私との再会をとっても喜んでくれました。

私は、龍澤さんの訃報を隆博から受けた時、私が仲介したラングリー高校との交流活動の話が進んでいることを聞きました。アメリカの高等学校との交流は、龍澤さんが生前強く希望していたことでした。私のしたことが、龍澤さんの希望に沿ったものになったことを嬉しく思います。来春には、盛岡を訪問できればと思っておりました。大変残念です。



### ニュージーランド

姉妹校 オツモエタイ高校／前校長 デイブ・ランデル&ジュード・ランデル

龍澤理事長のご逝去を知り、大変心を痛めております。大切な人を失ったご家族と関係者の皆様に、心よりお悔み申し上げます。

龍澤理事長は誠実であり、そして人に感動を与える方でした。私の友人でした。

尊敬する人でした。彼と、そして盛岡中央高校とは、沢山の思い出があります。皆様にとって、彼の死は大変重いものでしょう。私達は、この特別な人に今思いを寄せています。



### カナダ・ヴィクトリア

ヴィクトリア教育委員会第61区高校／プログラム・ディレクター ジェフ・デイビス

龍澤理事長のご逝去を知り、心よりご冥福をお祈り致します。

私が彼と最初に会った時、彼は66歳、私は30歳でした。彼と過ごした全ての瞬間に感謝します。理事長が生前、また海外に行きたいとおっしゃっていたと伺いました。大変心が痛みます。是非またヴィクトリアに来て頂きたいと思っていました。



### アルゼンチン

姉妹校 コレヒオ・ワード／校長 アドリアーナ・モレーリ

龍澤桂子様とご家族の皆様へ

龍澤理事長のご逝去のニュースを聞き、大変残念でなりません。とても悲しいです。彼は善良で紳士、そして大変思慮深い方でした。また教育に情熱を持っていました。彼と巡り合えたことは、この上なく光栄でした。そして彼を通じて、盛岡中央高校の皆様を知り得たことも光栄でした。

彼は11年前に、アルゼンチンを訪れました。そして本校をご訪問頂きました。その時の光景が今でも蘇ります。彼は自身の人生と、御父上が創設された盛岡の学校のことについて熱っぽく語ってくれました。別れという悲しさの最中ですが、皆さまの心に平和が訪れますことを願っています。



龍澤学館理事長  
龍澤尚孝

## 御礼とご挨拶

このたびは残暑のなか、北は北海道、南は四国、九州・沖縄から、父 龍澤正美の「お別れの会・皆様への感謝の会」へわざわざお越し下さり誠にありがとうございます。盛岡、岩手はもとより、東京圏や関西圏の諸先生、諸先輩がたのご懇情にも厚く御礼申し上げます。とくに夏休みの最中、夏期講習中にもかかわらずご参会下さった皆様には、故人も草葉の陰から、涙ながらに手を合わせていることと思います。

さて、父は今年6月4日の夜に、突然、旅立ちました。1年ほど前から足腰が弱り、車椅子生活でしたが、この4月半ばまでは毎日のように法人本部に顔を見せ、穏やかな笑顔で執務しておりました。

しかし、徐々に体が衰弱して病魔には勝てませんでした。覚悟はしていたものの、早すぎるお見送りでした。葬儀等は近親者で済ませ、このような最後のお別れの機会を設けさせて戴きました。どうか皆様には、ご理解下さるようお願い申し上げます。

今秋には、龍澤学館創立70周年、盛岡中央高校創立60周年を迎えます。今後とも学館グループは、これまで以上に各位のご指導とご鞭撻を仰ぎながら、そして各校教職員の熱意とチームワークをもって、前進して参ります。同時に未熟、若輩、微力ながら、父の功績を胸に刻み、遺志を継いで未来を切り拓いて参ります。さらに人づくりを通して地域の活性化に貢献して参りたく念願しております。合掌。

## 喪主 龍澤桂子

### 故・龍澤正美「お別れの会・皆様への感謝の会」実行委員会

実行委員長 龍澤 尚孝

(学校法人龍澤学館 理事長／学校法人富士大学 理事長／専修学校盛岡中央ゼミナール 校長／盛岡外語観光&プライダル専門学校 校長)

実行委員 千葉 研二 (盛岡中央高等学校 校長／盛岡中央高等学校附属中学校 校長)

実行委員 工藤 昌雄

(盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校 校長／盛岡公務員法律専門学校 校長／盛岡ペットワールド専門学校 校長／MCL 菜園調理師専門学校 校長)

実行委員 鈴木 一幸 (盛岡医療大学 校長)

実行委員 鈴木 敏彦 (幼保連携型認定こども園月が丘幼稚園・保育園 園長)

実行委員 松森 一美 (社会福祉法人盛岡ひまわり会 緑が丘ひまわり保育園 園長)

実行委員 小林 加奈 (社会福祉法人盛岡ひまわり会 盛南ひまわり保育園 園長)

実行委員 成島 信夫 (株式会社IBCソフトウェア 代表取締役社長)

実行委員 芳賀 司 (株式会社エムシーエス生涯学習センター 代表取締役社長)

実行委員 佐々木 勇 (国際情報ビジネス協同組合 理事長)

実行委員 岡田 秀二 (学校法人富士大学 学長)

2023.7 (順不同、敬称略)